

## 2024年4月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年6月14日

上場会社名 株式会社軽自動車館

上場取引所 東

コード番号 7680 URL https://www.keijidousyakan.com/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部 章一

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 佐藤 哲康 (TEL) 011-200-0312

定時株主総会開催予定日 2024年7月26日 配当支払開始予定日 -

発行者情報提出予定日 2024年7月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年4月期の業績(2023年5月1日~2024年4月30日)

## (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期	4,255	6.7	10	△74.6	4	△87.7	4	△51.9
2023年4月期	3,990	19.2	40	86.8	35	80.0	9	△22.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年4月期	86.69	—	2.1	0.3	0.2
2023年4月期	180.29	—	4.5	2.4	1.0

(参考) 持分法投資損益 2024年4月期 - 百万円 2023年4月期 - 百万円

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年4月期	1,406	213	15.2	4,139.71
2023年4月期	1,544	209	13.5	4,053.02

(参考) 自己資本 2024年4月期 213百万円 2023年4月期 209百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年4月期	202	△9	△130	131
2023年4月期	△65	△11	96	69

## 2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年4月期	0.00	0.00	0.00	—	—	—
2024年4月期	0.00	0.00	0.00	—	—	—
2025年4月期 (予想)	0.00	0.00	0.00		—	

## 3. 2025年4月期の業績予想(2024年5月1日~2025年4月30日)

(%表示は対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	4,351	2.3	50	381.6	40	815.9	24	447.6	474.71

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年4月期	51,600株	2023年4月期	51,600株
2024年4月期	一株	2023年4月期	一株
2024年4月期	51,600株	2023年4月期	51,600株

※ 決算短信は公認会計士または監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(持分法損益等) .....	10
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度(2023年5月1日から2024年4月30日まで)におけるわが国経済は、社会経済活動が正常化し、インバウンド需要等が回復したことにより、景気は上昇傾向にあります。一方、ウクライナ情勢の長期化や各地での内戦により国際情勢は不安定な状況が続き、サプライチェーンの混乱やエネルギー資源の高騰、日米の金利差拡大を背景とした歴史的な円安による物価の上昇、人口減少による人材の確保等先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境のなか、中古車販売業界におきましては、2023年5月からの半導体をはじめとする各種部品サプライチェーンの混乱が解消に向かい、新車の生産・販売環境が大きく改善し、新車への買い替え時に発生する下取車が増加し、国内消費者が中古車を購入しやすい環境へと回復し、2023年5月から2024年4月までの国内軽自動車中古販売台数は2,854,619台(前年同期比101.4%)と前年実績を上回る結果となりました。一方で、大手販売店に端を発する各種報道は中古車販売業界を大きく揺るがすことになり、中古車販売業界全体がお客さまからの信頼を損なう問題となりました。

当社におきましては、道東地区店舗の販売台数の増加が、全体の販売台数を牽引したことにより、販売台数は3,898台(前年同期比103.1%)と前年実績を上回った結果、売上高は前年実績を上回りました。一方、仕入コスト上昇分を販売価格へ転嫁することが十分に進まなかったことにより、売上総利益率が前年実績から1.2ポイント下回りました。また、引続き経費削減に努めましたが、人材確保を目的とした定期昇給等による人件費の増加等により、販売費及び一般管理費は前年実績を上回りました。特別利益では受取補償金6,044千円の計上と特別損失では函館店の看板を老朽化により撤去し、固定資産除却損3,101千円を計上いたしました。

以上の結果、売上高は4,255,707千円(前年同期比6.7%増)、営業利益は10,381千円(前年同期比74.6%減)、経常利益は4,390千円(前年同期比87.7%減)、当期純利益は4,473千円(前年同期比51.9%減)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (流動資産)

当事業年度末における流動資産は1,045,312千円となり、前事業年度末に比べ134,540千円の減少となりました。その主な要因は、商品が221,190千円減少したこと、現金及び預金が62,029千円増加したこと、売掛金が26,704千円増加したこと等によるものであります。

#### (固定資産)

当事業年度末における固定資産は361,234千円となり、前事業年度末に比べ3,301千円の減少となりました。その主な要因は、建物が5,929千円減少したこと、構築物が2,267千円減少したこと、工具、器具及び備品が2,533千円減少したこと、車両運搬具が5,002千円増加したこと等によるものであります。

#### (流動負債)

当事業年度末における流動負債は734,395千円となり、前事業年度末に比べ169,491千円の減少となりました。その主な要因は、買掛金が49,620千円減少したこと、短期借入金が125,000千円減少したこと等によるものであります。

#### (固定負債)

当事業年度末における固定負債は458,543千円となり、前事業年度末に比べ27,176千円の増加となりました。その主な要因は、長期借入金が借入れにより21,677千円増加したこと、退職給付引当金が4,057千円増加したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当事業年度末における純資産は213,609千円となり、前事業年度末に比べ4,473千円の増加となりました。その要因は当期純利益の計上により利益剰余金が4,473千円増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の残高は、131,570千円と前事業年度末に比べ62,029千円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、202,160千円となりました。これは、棚卸資産が221,360千円減少したこと、未払消費税等が34,385千円増加したこと、仕入債務が49,620千円減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、9,288千円となりました。これは、有形固定資産の取得により6,034千円支出したこと、有形固定資産の除却により2,400千円支出したこと、敷金及び保証金の差入により1,290千円支出したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、130,842千円となりました。これは、短期借入金が125,000千円減少したこと、リース債務を8,482千円返済したこと等によるものであります。

## (4) 今後の見通し

2025年4月期の見通しについては、歴史的な円安による物価の上昇、人口減少による人材確保等先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

このような経済環境において、当社は前事業年度の仕入コスト上昇分を販売価格へ転嫁することが十分に進まなかったことが重要課題と認識し、収益改善を推し進めてまいります。また、引続き経費の見直しによる削減及び業務効率化の推進等による一層の経費削減を図ってまいります。

以上の見通しに基づき、2025年4月期の通期業績は、売上高は前年同期比2.3%増の4,351,688千円、営業利益は前年同期比381.6%増の50,000千円、経常利益は前年同期比815.9%増の40,209千円、当期純利益は前年同期比447.6%増の24,495千円を見込んでおります。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主への利益還元を経営上の重要な課題として位置付けており、安定した配当を継続することを基本方針としております。

当事業年度におきましては、前述の通期業績を踏まえ誠に遺憾ではございますが、無配とさせていただきます。

今後の方針としましては、将来的には株主への利益還元を実施していく方針であります。当社は現在成長段階にあり、利益を内部留保することにより成長に向けた投資を行うことで更なる成長を実現させることが企業価値の最大化につながるものと考えております。内部留保した資金は主に新規出店に係る投資等に充てる予定であり、現時点においては配当予測につきましては未定とさせていただきます。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較を可能にするため、会計基準について日本基準を適用しております。IFRS(国際財務報告基準)については、今後の動向を注視したうえで適切に対応してまいります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年4月30日)	当事業年度 (2024年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	69,541	131,570
売掛金	122,386	149,091
商品	946,816	725,625
貯蔵品	671	501
未収還付法人税等	—	1,852
前払費用	18,378	19,852
その他	22,060	16,819
流動資産合計	1,179,853	1,045,312
固定資産		
有形固定資産		
建物	159,477	162,640
減価償却累計額	△48,511	△57,603
建物(純額)	110,965	105,036
構築物	46,764	45,468
減価償却累計額	△26,306	△27,277
構築物(純額)	20,458	18,190
機械装置	22,724	22,724
減価償却累計額	△5,348	△7,659
機械装置(純額)	17,376	15,065
車両運搬具	10,165	16,722
減価償却累計額	△10,077	△11,630
車両運搬具(純額)	88	5,091
工具、器具及び備品	35,967	39,238
減価償却累計額	△22,997	△28,802
工具、器具及び備品(純額)	12,969	10,436
土地	120,761	120,761
有形固定資産合計	282,619	274,581
無形固定資産		
ソフトウェア	1,631	1,154
無形固定資産合計	1,631	1,154
投資その他の資産		
出資金	30	30
敷金及び保証金	51,273	52,163
長期前払費用	4,026	4,902
繰延税金資産	23,196	25,877
その他	1,757	2,524
投資その他の資産合計	80,284	85,498
固定資産合計	364,535	361,234
資産合計	1,544,389	1,406,547

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年4月30日)	当事業年度 (2024年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	139,828	90,207
短期借入金	535,000	410,000
一年内返済予定の長期借入金	63,914	44,877
リース債務	7,716	6,548
未払金	11,400	10,727
未払費用	42,035	41,100
未払法人税等	9,249	1,014
前受金	53,854	53,528
賞与引当金	19,557	26,095
その他	21,331	50,297
流動負債合計	903,887	734,395
固定負債		
社債	130,000	130,000
長期借入金	251,803	273,480
リース債務	9,107	10,725
長期未払金	2,870	2,575
退職給付引当金	16,488	20,545
資産除去債務	21,097	21,217
固定負債合計	431,366	458,543
負債合計	1,335,253	1,192,938
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	44,012	44,012
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	165,123	169,597
利益剰余金合計	165,123	169,597
株主資本合計	209,135	213,609
純資産合計	209,135	213,609
負債純資産合計	1,544,389	1,406,547

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)	当事業年度 (自 2023年5月1日 至 2024年4月30日)
売上高	3,990,296	4,255,707
売上原価		
商品期首棚卸高	793,091	946,816
当期商品仕入高	3,325,088	3,211,834
合計	4,118,179	4,158,650
商品期末棚卸高	946,816	725,625
売上原価合計	3,171,363	3,433,024
売上総利益	818,932	822,683
販売費及び一般管理費		
役員報酬	42,460	42,441
給料手当	272,721	284,634
賞与	17,116	22,697
賞与引当金繰入額	17,230	23,801
退職給付費用	3,741	4,972
法定福利費	52,100	60,010
広告宣伝費	48,844	48,247
水道光熱費	33,092	29,462
支払手数料	10,855	11,173
車両費	14,524	16,167
減価償却費	20,215	18,726
賃借料	139,221	141,276
リース料	12,568	14,432
その他	93,305	94,256
販売費及び一般管理費合計	777,997	812,301
営業利益	40,934	10,381
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	1
還付金収入	5,241	6,668
助成金収入	733	—
受取保険金	—	1,896
その他	1,989	2,252
営業外収益合計	7,965	10,818
営業外費用		
支払利息	10,983	14,561
社債利息	521	576
支払保証料	1,630	1,671
その他	10	0
営業外費用合計	13,146	16,809
経常利益	35,752	4,390



(単位:千円)

	前事業年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)	当事業年度 (自 2023年5月1日 至 2024年4月30日)
特別利益		
固定資産売却益	32	36
受取補償金	—	6,044
特別利益合計	32	6,081
特別損失		
固定資産除却損	3,824	3,101
減損損失	16,530	—
店舗整理損失	2,895	—
特別損失合計	23,249	3,101
税引前当期純利益	12,535	7,369
法人税、住民税及び事業税	12,771	5,577
法人税等調整額	△9,538	△2,680
法人税等合計	3,232	2,896
当期純利益	9,303	4,473

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)

(単位:千円)

	株 主 資 本				純資産合計
	資本金	利 益 剰 余 金		株主資本合計	
		その他利益剰余金	利益剰余金合計		
		繰越利益剰余金			
当期首残高	44,012	155,820	155,820	199,832	199,832
当期変動額					
当期純利益		9,303	9,303	9,303	9,303
当期変動額合計	—	9,303	9,303	9,303	9,303
当期末残高	44,012	165,123	165,123	209,135	209,135

当事業年度(自 2023年5月1日 至 2024年4月30日)

(単位:千円)

	株 主 資 本				純資産合計
	資本金	利 益 剰 余 金		株主資本合計	
		その他利益剰余金	利益剰余金合計		
		繰越利益剰余金			
当期首残高	44,012	165,123	165,123	209,135	209,135
当期変動額					
当期純利益		4,473	4,473	4,473	4,473
当期変動額合計	—	4,473	4,473	4,473	4,473
当期末残高	44,012	169,597	169,597	213,609	213,609

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)	当事業年度 (自 2023年5月1日 至 2024年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	12,535	7,369
減価償却費	24,838	21,795
減損損失	16,530	—
店舗整理損失	2,895	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,082	6,538
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,314	4,057
受取利息及び受取配当金	△0	△1
還付金収入	△5,241	△6,668
助成金収入	△733	—
受取保険金	—	△1,896
受取補償金	—	△6,044
支払利息及び社債利息	11,505	15,138
支払保証料	1,630	1,671
固定資産売却益	△32	△36
固定資産除却損	3,824	3,101
売上債権の増減額(△は増加)	△32,394	△26,704
棚卸資産の増減額(△は増加)	△154,037	221,360
仕入債務の増減額(△は減少)	29,572	△49,620
前受金の増減額(△は減少)	20,217	△326
未払金の増減額(△は減少)	1,243	△672
未払消費税等の増減額(△は減少)	4,842	34,385
その他	3,365	△3,174
小計	△53,042	220,270
利息及び配当金の受取額	0	1
還付金の受取額	5,241	6,668
助成金の受取額	733	—
保険金の受取額	—	1,896
補償金の受取額	—	6,044
利息及び保証料の支払額	△12,712	△17,056
店舗整理損失の支払額	△2,095	—
法人税等の還付額	1,040	—
法人税等の支払額	△4,508	△15,665
営業活動によるキャッシュ・フロー	△65,342	202,160
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の売却による収入	32	36
有形固定資産の取得による支出	△10,472	△6,034
有形固定資産の除却による支出	—	△2,400
敷金及び保証金の返還による収入	—	400
敷金及び保証金の差入による支出	△1,000	△1,290
その他	△10	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,450	△9,288
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額	165,000	△125,000
長期借入による収入	—	51,858
長期借入金の返済による支出	△60,764	△49,218
リース債務の返済による支出	△7,855	△8,482
財務活動によるキャッシュ・フロー	96,380	△130,842
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	19,588	62,029
現金及び現金同等物の期首残高	49,953	69,541
現金及び現金同等物の期末残高	69,541	131,570

## (5) 財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、自動車販売事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

## (持分法損益等)

当社は、関連会社を有していないため、該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)	当事業年度 (自 2023年5月1日 至 2024年4月30日)
1株当たり純資産額	4,053.02 円	4,139.71円
1株当たり当期純利益	180.29 円	86.69 円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)	当事業年度 (自 2023年5月1日 至 2024年4月30日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	9,303	4,473
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	9,303	4,473
普通株式の期中平均株式数(株)	51,600	51,600

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。